

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	状況分析と課題整理が安定した生活リズムの構築の一端を担っています
	内容	ここ数年、発達障害や精神面に不安感の強い利用者が増えた背景もあり、自己肯定感や安心感を持つことを優先に支援しています。そのため、事業所では安定して通所できない方の状況分析と課題整理をして、解決策を講じています。遅刻の多い方には、毎日の通所時間を記録し、遅刻がなかった日数を本人に示すことで、遅刻改善の動機づけを行っています。定期的に気持ちが不安定になる方には、毎日の状態を記録することで周期の傾向を少しずつ把握できるようになりました。これら状況分析と課題整理は、安定した生活リズムの構築の一端を担っています。
2	タイトル	工賃向上へ意欲的に取り組み、利用者の生活面や通所意欲の向上につながっています
	内容	事業所では、ダイレクトメール作業、公園やアパートの清掃作業、資源回収作業をメインに行っています。そのほか、東京都障害者施設生産活動応援センターから受注作業、お寺での清掃や木の伐採、学校シューズの販売会など、多彩な作業を揃えています。職員も工賃向上に意欲的に取り組んでおり、「どの期間までに、どの量を、何人で回していくか」を合議にて決定することで受注量をコントロールしています。その成果として、この数年は時給・日給・月給と工賃が右肩上がりて推移しており、利用者の生活面や通所意欲の向上につながっています。
3	タイトル	利用者が活躍できる場を設けることでやりがいと達成感を得ることができています
	内容	毎日の朝の会や昼の会は利用者が司会をしており、利用者が混乱することがないように、進行表も作成されています。順番で司会を担っていますが、人前に出ることが苦手な利用者には無理強いないようにしています。みんなで気持ちよく挨拶をし、一日の流れを確認する機会を利用者が自ら行うことで、達成感などを感じるができるものと思われま。また、進行をする司会者は注目を浴び、賛同を得ることで、本人のやりがいにもつながり自分で考え進行することができる利用者もあり、毎日の継続した取り組みが成果として現れています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	今後の職員のスキル向上や業務レベルの底上げが期待されます
	内容	昨年より主任を配置したことで、職員の情報共有はスムーズに行われ、連携体制はより強固になりました。また、キャリアパスを策定して計画的に職員の育成に取り組んでおり、職員の入れ替わりもほとんどなく、安定した組織体制を構築しています。日々のミーティングでの意見交換や計画の評価・見直しの素案の作成を行うことで支援方針の統一が図られ、利用者の状況分析や課題整理の力が向上してきました。一方で、課題解決に向けた提案力といった部分で課題が見受けられるため、今後の職員のスキル向上や業務レベルの底上げが期待されます。
2	タイトル	利用者一人ひとりのできることを把握し、作業効率を高める取り組みが期待されます
	内容	工賃アップや作業を安定して利用者へ供給するために、職員は積極的に新規事業の受注に取り組んでいます。昨年からお寺での清掃や木の伐採などの新しい作業も加わり、さらにはダイレクトメール作業にもより計画的に取り組めるようになり、職員の日々の努力の成果が現れています。利用者も様々な作業に取り組むことで自信がつかますが、一方で個々人に目を向けると作業における得意・不得意もあり作業効率が落ちてしまうことも推察されます。利用者一人ひとりの作業能力を細かく分析し、作業効率を一層高める取り組みが期待されます。
3	タイトル	不適切な対応について互いに指摘しあえる関係性の構築が期待されます
	内容	昨今何かとフォーカスされている、福祉事業所での利用者に対する不適切な対応について、法人全体で虐待防止マニュアルや職員行動指針、倫理規程などを通じて周知を図り、虐待防止研修も実施し職員への意識づけを図っています。さらに、虐待の芽チェックリストなどでの定期的な確認も計画されています。とはいえ、日々の不適切な対応は自分自身では気づかないこともあります。ミーティングなどでも虐待について検証することもあるようですので、さらに一歩踏み込んで、互いに不適切な対応について指摘しあえる関係づくりの構築が期待されます。